

【オンデマンド事例】

AGILITにより海外拠点のWebサイトの 統合管理を図るクラリオン

ブランド戦略の鍵となるWeb サイトの基盤にAGILITを導入

企業のWebサイトは、単なるPRのための情報発信メディアではなく、ブランド戦略の根幹をなす重要なメディアとなっている。Webサイトの出来不出来は、企業のブランドイメージにダイレクトに結びつく。このため、ブランド戦略に基づくWebデザインやユーザビリティを含め、あらゆる情報発信を統一的なポリシーに則して、行うことが重要である。例えば、いくら良いイメージのCMを流していても、消費者が確認にいったWebサイトの出来が悪いと、一気にブランドイメージが損なわれることになる。

車載AV及びカーナビの大手専門メーカーであるクラリオンは、ブランド戦略推進の一環として、2003年には国内向け及び海外向けWeb

サイトの再構築と統合管理化を計画し、プロジェクトチームを結成し検討を重ねてきた。

「Webサイトの再構築と統合管理に踏み切った背景としては、弊社の海外のWebサイトが企業のブランドイメージを損ねかねない状態にあったという点があげられます。海外のWebサイトの構築・運用管理は、コンテンツの制作・更新も含め、海外現地法人と、それがない地域は販売代理店にすべて任せていました。ところが、全体的な統一感もなく、地域によってはCI規定を無視したロゴの取扱いとか、長期間更新しないと、ひどい状態でした。国内のWebサイトについては、ブランド戦略に基づいて数年前より徐々に改善してきましたが、海外のWebサイトもブランド戦略に基づいて本社側で再構築し、運用管理することとしました。」(クラリオン(株)広報・ブランド戦略推進室の福本博之氏)

海外現地法人や販売パートナーを訪問し、Webサイトのあり方をヒアリングして歩いたという。そのヒアリングの内容を基に、2004年末に国内サイトをリニューアルし、2005年4月には海外向けの英語版Webサイトのプロトタイプとして、シンガポール向けのWebサイトを立ち上げ



クラリオン(株)
広報・ブランド
戦略推進室
福本 博之氏

た。そして7月、統合管理化に向けた新Webサイトの基盤として選択したのがAGILITであった。

AGILIT導入の経緯については、「Webサイトの再構築と統合管理化を契機に、世界中からのアクセスに24時間365日対応することが必要なことから、ホスティングサービスの利用を検討しました。安全で高品質にホスティングしたいという私どもの要求に対して、小規模なので、割高感はありましたが、オーバースペックとも言えるほどセキュリティ、品質(SLA100%)面が充実しているほか、オンデマンドという点も高く評価し、AGILITを選定しました。とにかく、セキュリティの強固さには驚いています。」と述べている。

また、同社がAGILITを選択した理由の一つには、海外からのアクセスに対してできるだけ少ないホップ数で接続できるように、国内トップを誇るNTTコミュニケーションズのグローバルに展開する強力なインタ

会社概要

クラリオン(株)

創業：1940年 資本金：261億円

取締役社長：泉 龍彦

事業内容：車載AV及びカーナビの開発、生産、販売。音と情報を楽しむ理想的なモバイル・インフォエンターテインメント環境の実現を目指している。

http://www.clarion.co.jp/

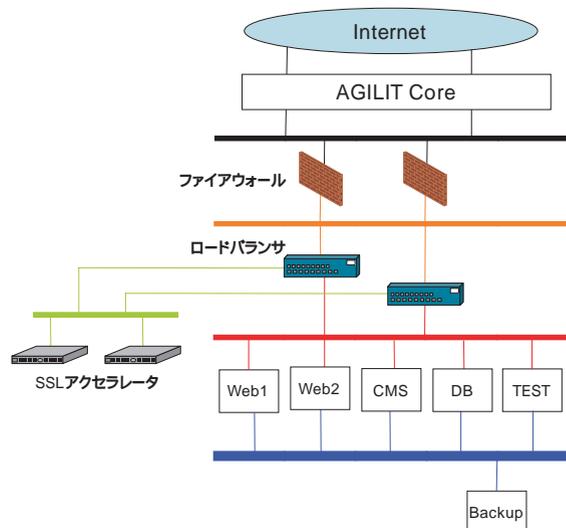


図1 クラリオンの新Webシステムの概要

ーネットバックボーンを利用したいという点もあげられた。

「地球の裏側からもアクセスされるお客様もいるわけですし、仮に他社のホスティングサービスを利用するにしても、ネットワークはNTTコミュニケーションズを利用したいと考えていました。海外にヒアリングに出向いた際に、特に米国の現地法人は、日本でWebサイトを統合管理することに対して、アクセスが遅くなるからという理由で難色を示されました。AGILITの採用は、合意形成の説得材料にもなりました。」

図2 国内向け新Webサイト
(<http://www.clarion.co.jp/>)

(前出 福本博之氏)

AGILITで新Webシステムを統合管理

図1にクラリオンの新Webシステムの概要を示すが、Webサーバ(冗長構成)、CMS(コンテンツマネジメントシステム)サーバ、DBサーバ、テストサーバなどをAGILITでホスティングし、統合管理して

いる。SSLアクセラレータや、負荷分散装置(ロードバランサ)を利用し、アクセシビリティの向上と高い可用性を実現している。

Webサイトの再構築と統合管理化のプロジェクトチームには、国内の有力企業のWebサイトで数多くの実績を持つ(株)キノトローブ社も参画していた。CMSについては、同社の薦めもあって、米FatWire Software社のContent Serverを用いて構築している。

全世界向けのWebシステムということから、各Webサイトごとの

図3 海外向け新Webサイトの例
(<http://www.clarion.com.sg/>)

コンテンツは、本社主導のブランド戦略に基づいてそれぞれが制作し、CMSを用いて更新することとしている。FatWire Content Serverには、Webサイトのレイアウトや構造をすべて管理する機能が含まれているため、世界中のWebサイト用のテンプレートを事前に作成し、各国のコンテンツ制作の負担を軽減するようにしている。なお、コンテンツ配信のグローバルネットワークは、セキュリティ面を考慮して、NTTコミュニケーションズが提供する「Arcstar グローバルIP-VPN サービス」を利用している。

本年12月の米国に続き、年度内に全世界27サイトを立ち上げる

クラリオンでは、日本向けとシンガポール向けのプロトタイプWebサイト(図2、図3)をテスト運用してきた。

そのテスト運用の結果をもとに新Webシステムの正式構築に着手。

2005年7月にAGILITの導入を決定し、極めて短期間で、新WebシステムをAGILITプラットフォーム上に構築した。

2005年12月末には、米国向けWebサイトを立ち上げるのを皮切りに、今年度中に北米、ヨーロッパ、アジア、オセアニア地域の合計27サイトを立ち上げる予定である。また、来年以降には、海外拠点のない地域向けのWebサイトを立ち上げるほか、クラリオングループ会社のWebサイトについても、AGILITの利用を薦めたいとしている。